

犬アデノウイルス (CAV)

● 犬アデノウイルス1型に対するワクチン効果、防御能の判定には犬ワクチンセット (18ページ参照) をご利用ください。

★検査材料は遺伝子専用としてお送りください。遺伝子以外の項目と重複している場合は必ず遺伝子用に材料を分けてください。

項目名	検査材料	送付方法	所要日数	検査方法	検査項目の説明、注意事項
CAV-1 遺伝子★	尿 全血 (EDTA 処理) 0.4mL	常温 冷蔵	4日 以内	PCR	<ol style="list-style-type: none"> 1. 感染直後 (急性症例) で未だ十分に抗体が上昇していない場合や CAV-1 と CAV-2 抗体価が同値 (下記参照) の場合など、抗体検査で診断できなかった例でも適応可能です。 2. 検査材料は全血と尿ですが、後者の方が感染後長期間検出されます (下図: CAV-1 感染から遺伝子、抗体の推移 参照)。 3. CAV-2 と区別して検出します。 4. 角膜混濁 (ブルーアイ) は回復期に出現するため、この所見の場合は尿材料となります。
1 型抗体 (CAV-1)	血清 (血漿) 0.2mL	常温 冷蔵	7日 以内	NT	
2 型抗体 (CAV-2)	血清 (血漿) 0.2mL	常温 冷蔵	7日 以内	NT	
CAV-1 抗体 + CAV-2 抗体 同時検査	血清 (血漿) 0.2mL	常温 冷蔵	7日 以内	NT	<ol style="list-style-type: none"> 1. 犬伝染性肝炎 (CAV-1 感染症) の診断にご利用ください。 2. CAV-1 抗体価 > CAV-2 抗体価の場合 CAV-1 感染の診断が成立します。CAV-1、CAV-2 は血清学的に部分交差性を示すため、診断には両抗体価を比較する必要があります。CAV-1 抗体のみの検査では感染の診断はできません。 3. 両抗体の比較は同時検査をご利用ください。検査日が違えば両抗体価の正確な比較はできません (誤診を招きます)。 4. まれに CAV-1 と CAV-2 抗体価が同値で、診断できないことがあります。

【CAV-1 感染から遺伝子、抗体の推移】

